

校友

桜の聖母学院
中学校新聞

発行 第3号

桜華祭特集号

平成22年10月8日
中学校新聞委員会

桜花遊爛

平成22年 桜華祭終了！

皆さんごきげんよう。今年の「桜華祭」はいかがでしたか。よい振り返りや感想がたくさんありました。今回は、生徒会役員として初めての「桜華祭」でした。前日まで準備することがたくさんあって、「人数がもつとほしい」「もう疲れた」と弱音をはきたくなることもありましたが、しかし、オープニングでの「風船吹き飛ばし」や先生方の「聖母レンジャー」で盛り上がっている皆さんを見て、ここまで準備をしてきて本当によかったと思いました。各学年の展示でも、たくさんの方があり、家族や地域の皆さんにも楽しんでくれたのではないかと思います。フィナーレでは、ステージの上から、皆さんたちが楽しそうに「あとひとつ」を歌う姿や、とてもきれいなルミカライトを見ていて、今までやってきたことの達成感を感じました。来年も、ぜひ皆さんの力で、すばらしい「桜華祭」をつくっていきましょう。そして、達成感をまたいっしょに味わいましょう。

(生徒会長 三年 菅原)



原画 高校3年菅野希和子さん

インターナショナル部

私たちインターナショナル部では、「白雪姫」の英語劇を上演しました。台本から自分たちで考え、台詞も一人ひとり必死に覚えしました。夏休み中も部員全員で集まって練習しました。小道具や衣装も自分たちで作り、普段はあまり人前に出ることのない部員も、活発に活動することができたと思います。本番ではハプニングもありましたが、みんなでフォローし、成功することができました。この劇を通して学んだ「協力すること」を忘れず、楽しく活動していきたいと思っています。



(三年 長尾)

ステージ発表 ～沖縄舞踊～

中学2年生は、歌とダンスに分かれてステージ発表をしました。1曲目は「ていんさぐぬ花」を歌いました。2曲目はダンス「カチャーシー」、3曲目の「花」では、歌とダンスを全員で発表しました。授業での練習はもちろん、放課後も使って練習しました。本番直前のリハーサルでは「本当にこれで大丈夫か」と不安になりましたが、本番では、2年生全員が工夫しながら練習した結果を出すことができ、大成功でした。今回は「浴衣」の着付けも、自分たちで行ないました。すばらしいステージ発表になったと思います。(2年 安斎)



和装プレゼンテーション

私たち三年生は、総合の時間に行なっている「和装礼法教室」のプレゼンテーションを行いました。準備として、授業で習っている先生にうかがい、細かなところまで教えていただきました。プレゼンテーションでは、お借りした道具や授業で教えていただいたことを、皆さんに分かりやすく伝えられるように心がけました。着付けの先生や学年の先生にたくさんアドバイスをいただきました。無事にプレゼンテーションをすることができました。ありがとうございました。

(三年 サクラ)

美術部作品展示

私たち美術部は、二・三年生で「光のページェント」をしました。光を使った作品を、真っ暗の部屋に展示し、ライトアップしました。二日前から展示の準備をしました。すべて展示してライトアップすると、光のすばらしさを感じました。展示室にいられた方も、一つひとつの作品を真剣に見ていました。その他の展示として、絵や日記、手作りのかごなど、今まで制作してきた作品を展示しました。とてもよい展示になったと思います。

(二年 吾妻)



初めての桜華祭

私たち中学一年生にとって、初めての「桜華祭」でした。準備の段階から何をしてよいかわからず戸惑っていました。オープニングでは、「打ち上げ風船」やステージ発表など、生徒会役員や実行委員の人たちの準備のおかげで、とても活気がありました。一般公開が始まった時から、高校生のお店の呼び込みの声が聞こえ、とてもかっこよく見えました。ステージ発表では、何日も練習してきた成果が会場いっぱいにあふれ、とてもすてきでした。食べ物のお店もたくさんあり、どのお店もとてもおいしいものばかりでした。フィナーレでの大合唱が、とても幻想的でした。初めての桜華祭は最高の桜華祭となりました。

(二年 船山・高橋)